

## 【福部】地域の未来づくり懇談会 開催概要

- 1 日 時 令和6年11月26日（火） 10時～11時30分
- 2 場 所 福部町コミュニティセンター 多目的ホール
- 3 出席者 地区9名 市12名（市民生活部長（協働推進課）、交通政策課、福部町総合支所長（地域振興課・産業建設課・市民福祉課））
- 4 テーマ 「JR福部駅を中心としたまちづくりの取組と地域住民と地域内観光客の移動手段の確保について」
  - ① 今後の福部駅利用のあり方
  - ② 無人駅とその周辺の活性化
  - ③ 新たな交通手段の実証実験
  - ④ 住民の意識啓発

## 5 概 要

### 【地元あいさつ】

福部町のテーマは「JR 福部駅を中心としたまちづくりの取組と地域住民と地域内観光客の移動手段の確保について」としている。本日のテーマに関する内容は、本年3月に改定された福部町のまちづくり構想基本計画の中に4つの柱に沿った施策と8つの課題があり、にぎわいのあるまちづくりに沿った施策の中の福部中心部の中心地機能の拡充の福部駅による鉄道利用促進と誰もが住みよいまちづくりに沿った施策の中の町内移動手段の改善の地域交通の充実の課題項目でもある。これらは福部町が将来に渡って住みよい街であり続けるための取組課題の一つであり、テーマに対して鳥取市の意見を伺い、よりよい地域づくりの参考となるように意見交換会を活発にさせていただき、実りあるものになりたい。

### 【市民生活部長あいさつ】

この懇談会は令和2年度から始まったコロナウイルス感染症の影響を受け約3年間休止していた。その間アンケートの実施や自治連との意見交換を行い、テーマをしっかりと絞り、未来に向けた前向きな議論となる会にさせていただこうと昨年度から開始した。今日のテーマはJR福部駅を中心としたまちづくりの取組である。時間の許す限りしっかりとご意見をお聞かせいただき、前向きな意見交換になるように努めたい。

### ≪テーマの背景や理由≫

#### 【地元（説明）】

福部町は平成29年に福部町のまちづくり構想を策定し、まちづくりに取組んでおり、令和6年3月には福部町のまちづくり構想基本計画を改定した。この計画の中には塩見川河川改修およびJR福部駅の活性化も重要な課題として位置づけられている。今日のテーマの背景理由として、福部町の現状は平成16年11月の合併時に、人口3475人、950世帯で高齢化率は21.5%。平成31年（令和元年）は人口が2924人、1041世帯で高齢化率32.1%。

令和6年3月の状況は合併当時よりも人口が約1000人減っており2654人、1049世帯で高齢化率37.6%ということで非常に高齢化率が高く危惧される。鳥取市全体も令和6年3月で18万123人がこの10月末を見ると、18万人を切ったような状況で高齢化率も31%ぐらいになっており、非常に人口減少、少子高齢化が進んでいる。このような中で自家用車の普及を背景に、既存の路線バスで福部町を走っているのは日本交通である。また福部循環バスの運行は福部町総合福祉センターがしているが利用者の大幅な増加は見込めないことと併せて運転手のなり手不足を理由に減便や路線縮小などのサービス低下が懸念される。観光客の移動手段として福部駅が鳥取砂丘に一番近い駅という事でSNSに書かれており、インバウンドを初めとした観光客の増加が見られるが、地域内の案内板がなく、観光客も道に迷っているような場面も散見され、今年の夏は総合支所のバス停でバスを待っている外国人や日本人の若者を何組か見かけた背景がある。

#### 《地域の取組》

##### 【地元（説明）】

地域の生活交通としては福部駅が昭和47年に無人駅となり、現在に至る。利用状況は1日の平均乗客数が2012年は225人、コロナ禍が始まった2019年が150人、2021年が116人、2022年が108人と利用者も減ってきている。これは2019年以降コロナ禍による鉄道利用者の全国的な減少や人口の減少等で高校生とかの利用も少なくなっているところもあると思う。福部駅の状況は平成29年にまちづくり構想策定を契機に令和3年度より地元団体が駅舎周辺の環境整備に取組んでいる。特に、浜湯山・多鯰ヶ池活性化委員会さんが力を入れておられ、駅舎に福部町出身のイラストレーターの伊吹春香さんに福部の旅というらっきょう畑や鳥取砂丘をデザインしたものを書いていただき、駅前の段差解消、植栽の剪定や草刈りとポストやベンチの設置もしていただいた。また、福部となりのがっこうでは、福部未来学園の児童生徒等と一緒に公衆トイレの清掃等も行っている。駅前集落では年に1回、福部駅前の広場を含めた草刈り等による環境整備に取組んでいる。今年度は11月17日に福部町内の各種団体、企業、行政が共同で『福部町秋のふくふくまつり』を開催した。福部で運行している路線バスのうち生活サポートとして利用されている路線は市の中心部や岩美駅まで運行している日本交通の路線バスと地域内を循環しているバスがある。福部循環バス（らっちゃんバス）は公共交通空白地有償運送の運行形態をとっており、鳥取市社会福祉協議会が運営主体となり定時定路線で運行をしている。この運行は主に福部町総合支所より南部の地域で利用者は児童・生徒の通学や高齢者の方に限られている状況が見られる。

#### 《課題》

テーマ①今後の福部駅利用のあり方

##### 【地元（説明）】

今後の福部駅の利用ですが、塩見川河川改修工事等の治水対策が行われており福部駅前の状況も大きく変わってきている。河川改修工事により大雨時に水の引きが早くなり浸水被害も少なくなっており、工事の効果も目に見えていると思う。福部駅前にあったJA鳥取いなば福部支店も海士に移転し、今は駅前に何も無い状況である。福部駅前の道路工事は令和6年から9年度にかけて行われると聞いており、工事完了後の福部駅前のへのイメージが分からないところが1点ある。

2点目、送迎車両の待機スペースや駅利用者の駐車スペースは以前より増えるのか。また以前は地元の駅前集落が桜の開花時期に花見などもしていたが、市有地のスペースも荒廃し、容易に利用できる状態にはなく何か有効利用ができないかと思う。

また今後の福部駅利用のあり方について市の考え方を教えてほしい。先程も紹介したが、ふくふくまつりを浜湯山・多鯰ヶ池活性化委員会さんが計画しておられ、福部となりのがっこうでは公衆トイレの清掃等もしていただいている。そういうところも含め、今後の利用のあり方等について説明をいただきたい。

#### 【福部町総合支所 産業建設課】

まず前提として塩見川の改修事業は鳥取県が行っている事業であり、支所は地元の皆さんとの各種調整等を行っている。塩見川の本格的な改修は平成13年度から実施され、平成29年度に箭溪川と江川が合流する時点までが一旦整備されている。その途中の平成20年度に県は新たな塩見川の河川整備計画を策定し、これに基づいて整備されている。これによると整備期間は約30年間で、令和20年頃になり、整備区間はJRの鉄橋のあたりまでになっている。さらに駅前地区の集落より令和元年度に塩見川整備に係る早期改修の要望が県に出され、これを受けて県の方で暫定整備という形で改修を急いでいるところである。暫定整備では堤防は作らずに現在の地盤を掘り進め、概ね令和4年度より10年間で進めていくと聞いている。暫定整備が終わった後に本格的な堤防工事を行い、それが完成するのが大体令和20年頃である。工事の進捗状況はJR福部駅に向かう県道福部停車場線は現在の位置より上流側に付け替えられ、令和6年から9年度の計画と聞いている。次に新しい塩見川が現在の塩見川とJR福部駅の間、駅側の方に整備され、川幅は現在の塩見川の約2倍程度になり、現在の塩見川は半分程度埋め立てられると説明されている。

次は送迎車両の待機スペースや利用者の駐車スペースが以前より増えるかですが、送迎車両の待機スペースや車の回し場は現状と同じ広さが確保され、送迎車の待機スペース等は全面舗装されますが、駐車スペースが増えるわけではありません。最後に駐車場駐輪場は河川改修工事の影響範囲外で今回の河川改修工事に伴う整備は行われないため、別途整備する必要があります。

#### 【福部町総合支所 地域振興課】

塩見川河川改修事業後の駅前周辺がどのように変わっていくのか、現時点では具体的な

ことは未定ですが、整備後は福部駅前を始め、その周辺についても活性化していきたいと考えている。また、福部駅の利用促進については、福部町のまちづくり構想基本計画の施策としても掲げている。今年7月19日から11月17日にかけて実施させていただいたレンタサイクル実証事業を始め、11月17日に浜湯山・多鯰ヶ池活性化委員会さんと共催で開催したイベントなどJR福部駅や駅前周辺の活性化に繋がるイベントも開催している。今後の福部駅利用のあり方については、現在、福部地域振興会議で策定中の福部地域未来プランにも掲載していきたいと考えている。特に地元の団体さんの存在はとても大きいと感じており、福部となりののがっこうさんには福部駅のトイレ清掃、浜湯山・多鯰ヶ池活性化委員会さんには駅舎にイラストを描いていただき、草刈りなどの環境整備をしていただいたお陰で駅周辺がずいぶん明るくなり、駅を利用される町民や観光客が安心して利用することができ、とても感謝している。引き続き地元団体の皆様のお力をお借りしながら、にぎわいのあるまちづくりを目指していきたいと考えているので、ご協力をお願いしたい。

#### 【地元】

毎週トイレ掃除を仲間と一緒にさせてもらっている。保護者さんからはトイレが綺麗になると治安が良くなり、草刈りを駅前集落がしてくれて、細々したメンテナンスをしてもらえるのはすごく助かるという話は聞いている。駐車場のところが水溜りでぬかるみ状態なので、もう少し整地をされると使いやすくなるという話やイベントをするならば水道がなかったり電源はどこから取るかといった話もしている。子供たちの人数が減っているので駐輪場は手前側しか使われておらず、あのスペースが何か有効活用できたらという意見があるので、その部分で何かできるのではと話している。

#### テーマ②無人駅とその周辺の活性化

##### 【地元 説明】

近年、JR福部駅は鳥取砂丘に一番近い駅としてAI上で認識されコロナ禍を経て訪日外国人旅行者などが福部駅で下車して鳥取砂丘を目指すケースが挙げられている。今年8月のJR西日本の公表では鳥取浜坂駅間で2022年度は1日当たり768人、2023年度は790人と少し増えた。これもインバウンドの利用が増加した影響で前年度を上回っているのかなと思う。人口減少が進む中、地域の活性化には関係人口の拡大が必須で特に訪日外国人旅行者などは日本人の旅行者に比べて観光消費額が大きいことから外国人旅行者の獲得はJRとその周辺地域の産業の活性化に寄与するものと考えている。無人駅とその周辺の活性化について、市の考え方や先進事例等があれば教えていただきたい。鳥取県内では智頭急行の恋山形駅の事例もあり、いろいろな事例等も教えていただきたい。

##### 【福部町総合支所 地域振興課】

まず鳥取砂丘を有する福部町には年間100万人を超える観光客が訪れているが、訪問先

は砂丘周辺に限定され、町全体の活性化に繋がっていないのが現状である。これは観光客が鳥取駅や鳥取空港を起点に動いていることと自動車による移動が主な要因であり、もう一つの玄関口である福部駅の方が十分に活用されていないと考える。福部町内には砂丘観光に訪れた観光客がさらに足を伸ばし楽しんでもらえる観光資源があると考えている。塩見川河川改修のタイミングで福部駅とその周辺地域が活性するような取組、併せて町内の観光資源の磨き上げを行い、町の産業振興に寄与するよう取組んでいきたいと考える。また、駅利用についても、駅前の整備や交通のアクセスなどについて関係機関との検討が必要だと考えている。先進事例につきましては、本市では気高町において駅前を利用したイベントが実施され、今年5月に宝木駅の方で宝木てくてくマーケット、7月には2週にわたって商店街や地元団体が主体となって浜村駅の方で土曜夜市が開催されていることを確認している。

#### 【地元】

鳥取駅から福部駅までのアクセスはいいが、そこからのアクセスが非常に不便だと皆さんがおっしゃられる。今後は鳥取市にもicocaが使えるようになるので、ぜひ近隣の無人駅も電子マネー化とかも推進していただきたい。鳥取砂丘に来るお客様の1割程度でも福部駅を利用してくれれば自然とそこが賑わってくると思う。それを誘致するためには利便性が必須だと思うので、この資料の中にもあるが、無人のバスとかを直結させる、もしくは交通が一番混むGWとかの連休時に鳥取駅から福部駅、そこから鳥取砂丘のルートを推奨し、福部駅から鳥取砂丘を無料化するなどの思い切った施策をやっていただくと若干の人が流れ込んでくるのかなと思う。

#### 【地元】

活性化は行政に頼ってもできない。まずは地元が動いてなんぼだと思う。11月17日に福部町秋のふくふくまつりを開催した。当初は福部駅の駐輪場の前を会場に考えていたが、公民館まつりがあるということで同じところで開催した方が集客できるのではないかとということで支所と一緒に支所の前でさせていただいた。なぜこのイベントを計画したかと言うと前委員長が昨年亡くなられ、その方の思いの一つに駅の活性化があり、伊吹春香さんにイラストを書いてもらい、我々の方で環境保全活動を進めてきた。私はその意思を引き継ぐ形で年に1回ぐらいは福部町民の方々が一緒に集って楽しい時間を過ごす機会を設けることが必要だと考えた。私は福部町文化協会の理事もしており、文化協会の方からも披露の場が欲しいと要望があり、イベントの中のステージ展開に福部町文化協会の皆様の中からお希望された方々に出演してもらった。当日は福部町の方々だけではなく、町外からもいろいろな方が来られて、福部町民の方と町外から来た方々の交流もあった。文化協会の皆さんもやってよかった、楽しかったとご意見をいただいた。

今回のイベントは、輝く中山間地域創出事業補助金をいただいたが予算的には多くはな

い。行政からの補助金を頼りにした形でイベントを展開していくのであれば、継続性がない。だからこういったイベントが自走できるような仕組みを作っていく必要があると考えている。そういった中で、福部町の皆さんが主役になるようなイベント展開をやっていく必要があると考える。住んでいる人が福部町のことをいいと思い、皆さんそれぞれが盛り上げていこうという意思がないと活性化はできないと考え、これからもイベントをやっていこうと思う。

#### 【支所長】

浜湯山・多鯨ヶ池活性化委員会前委員長は昨年 11 月に急逝されたが、福部地域振興会議で作られた計画の中で福部町の活性化のことを提案していただき、福部駅が元気にならないと地域も元気にならないと言われ実践された方でした。その意思を引き継がれ継続していることに大変感謝をしている。11 月 17 日は福部町秋のふくふくまつりは地域を挙げての大きなイベントに成長させていただいた。当日は 1200 人を超えるたくさんの方がお越しになられ、福部にこんなに人がいたかというぐらいの集客に大変感謝している。

#### 【市民生活部長】

輝く中山間地域創出事業補助金は鳥取市が 10 年ぐらい前から、頑張っている地域の方に期間を限定して交付している。各支所でもかなり使っていており、地域活性化に寄与している。1200 人という多くの人を集められた祭りに活用できて良かったと思う。一方で、先程言われたように、行政の補助金頼りではだめ、まさにそのとおりである。町民の皆さんが自走できる取組みが大切であり、そこに我々市役所が、できることはしっかりとサポートしていく、どのような支援が必要か、これからもご意見を賜りたい。

#### テーマ③新たな交通手段の実証実験

##### 【地元（説明）】

新たな交通手段の実証実験で、最近では自動運転や AI などを活用した MaaS という複数の交通手段を最適に組み合わせて検索とか予約、決済が一括でできる次世代のサービスで新たな交通手段があると聞く。福部町内で JR や路線バス、らっちゃんバスがあるがこれらを組み合わせてさらに利便性を向上させる交通手段について実証実験等ができないかの考え方を教えていただきたい。また先日まで支所にレンタサイクルを置いて実証実験が終わったようなので、利用者の状況とかも教えていただきたい。

##### 【交通政策課】

前段としまして福部地域の交通の関係で少しお話ししたい。まずは、らっちゃんバスを社協さんの方に運行していただき、ありがとうございます。日本交通のバスですが路線バスはご承知のとおり運転手が減ってきている。実際、日ノ丸バスは今年の 3 月で青谷地域撤退

ということもある中で、日交さんが運行しているバスは幹線路線といい複数の市町をまたがり利用者が多いということで国の補助を出している。国が補助を出している大事な路線になるので、日本交通側もこの路線はしっかり維持していきたいと聞いており、両者を維持しながら利用促進や支援をしていきたい路線である。

鉄道も鳥取から豊岡方面の山陰本線の利用者が少ないというのはJRの方も公表している。実際、広島の方では鉄道をどうするのかという話が進んでいるが、鳥取はそういった話はJRからは来ておらず、市も兵庫県側の自治体と一緒にJRの方にしっかり鉄道を残して欲しいという要望活動を行い利用促進していきたい。先程の課題シートにマースという言葉があり、Mobility as a Serviceの頭文字を取ったもので、一つの手段で行き先検索と予約と支払い決済が一度に出来れば便利でスマートフォンなどをどんどん使って公共交通の利便性を高めていこうという取組で、お手元のチラシのノルデチケットの方はMaaSのチケットで鳥取県の東部エリアの日ノ丸・日交さんの路線バスが乗り放題になるようなチケットである。これもアプリでチケットを買って1日乗り放題であるとかチラシの右の方にいろんなお店の情報を掲載しているが、このチケットを使っていろんなサービスが受けられる。こういった取組を鳥取県東部の5つの市町と交通事業者、JRさんと日ノ丸さんや日交さんと一緒に協議会を立ち上げてやっている。裏面は鉄道とバスで、鉄道とこの線を並行して近く走っている路線バスの区間だけに限るが、それを合わせて乗り放題になるということを実験的にやっている。実は令和4年度に若桜谷で1回実施した。若桜線で1回検証し、令和6年度には3つのエリアで若桜・智頭・河原・郡家でも実施している。次は岩美方面にも繋げたいと検討している。この中でいろんな実証とあるが、今日は手元に資料はないが、市の観光のセクションで来年度予定しているのが、鳥取砂丘の西側と東側を秋の行楽シーズンに繋ぐようなシャトルバスみたいなものも検討している。まだ予算はついていませんので言えませんが、そういった検討もしている。参考ですが、自動運転も1年や2年ではできませんが最初に申し上げたように運転者が不足しており、バス会社としましても大事な路線に運転手を充てていくという方針があるが、運転者不足は困るため、いろんな技術を持って皆さんの生活交通を守っていけたらというところである。すぐに導入はありませんが、いろんなことを鳥取市としても取組んでいる。

#### 【地元】

MaaSとは簡単に認識するとしたら、どういうことか。

#### 【交通政策課】

アプリという言葉もとっつきにくい部分もあるが、例えば鉄道とバスとかを乗り継いでいくときにバス会社のホームページで時刻表を調べて、鉄道JRの時刻表を調べる作業を一つのところできたらいいなというシステムをいろんな会社が今開発中である。鳥取市と東部協議会としても、どのアプリが使いやすいのか、JRやバス会社の方もどこを使ったら

メリットがあるのかを研究をしている段階である。

#### 【福部町総合支所 地域振興課】

町内には JR や日本交通の路線バス、また福部町総合福祉センターさんが実施しておられるらっちゃんバスなどの移動手段があるが、それぞれ事業者が異なり乗り継ぎなども不便な形になっている。今後利用者の方が JR やバスまたはらっちゃんバスを使っただけのように JR や路線バスのダイヤに連動させるダイヤを福部循環バスで実施できないか、引き続き働きかけを行っていきたいと考えている。

レンタサイクルは、これまで民間事業者の方が砂丘周辺で観光客の方に向けてのサービスということで取組んでこられた。この度、福部駅から砂丘までの新たな移動手段として可能性を探るために民間事業者の方と連携して実証実験を 7 月 19 日から 11 月 17 日まで実施した。普通自転車 3 台で 1 日当たり 500 円の利用料金、スマートフォンで予約から決済まで 24 時間無人でできるシステムで実施し、利用実績は 6 件、いずれも日本人の利用があった。

#### 【地元】

福部の循環バスは地域の生活の足を支えるという意味合いで実施をしているバスになり、朝であれば通学の足としてダイヤを組んで実施してきた。今皆さんがお話されている観光の面、要するに地域の外に向けての活性化と地域の内向きの活性化というところで、ちょっと考え方を切り分けて考える必要があると考える。地域の方の足を確保するという考え方であれば、福部の中でぐるぐる回っていても、なかなか確保することにはならず、福部から主要な拠点まで出ていくことも最終的には考えていけないといけないと思う。今路線がない浜湯山や山湯山の地域や国道 9 号線沿いの砂丘方面側の地域住民の方がどういうふうに交通のことを考えておられるかというアンケートを今年度取らせていただいた。65 歳以上を対象に 1 世帯から 1 人回答いただくようなアンケートで、まだ自動車をお持ちの方が回答としては多く危機感がないような結果が出たところだが、半数の方は交通機関が欲しいという回答もいただいた。私も海士に住んでいるが、JR を使うことが生活の中で定着していないところがあり、この次の質問の部分の意識啓発というところにも繋がっていくかもしれないが、公共交通機関を使って移動をすることも、この活性化の中に含めていただき、観光客を移動させるということも考えていく必要もあるが、地域の方が移動していただく手段として交通を確保するというところもしっかりと考える必要があると感じている。

#### テーマ④住民の意識啓発

##### 【地元 説明】

住民の意識啓発について、地域の公共交通を確保・維持していくために自分たちで守るという主体的な責任感を持って取り組むことが大切である。このため、目指す将来の姿の実現



に向けて、市民・利用者、公共交通事業者、行政などが連携して取組んでいくことが求められる。最終的には地域の団体が公共交通空白地域の運行主体となり、地域交通を維持することと併せて地域住民のみならず観光客の 2 次交通としても利用していただけるよう周知に取組んでいけたらと思う。そのために地域住民や地域の運送事業者などの関係者が一丸となり乗って守るという意識を持って、今後どのような形で地域住民の意識付けをしていけばいいのか。他の地域の事例を含めて話していただければと思う。

#### 【交通政策課】

こちらは簡単そうで非常に難しい課題と感じている。この十数年でも 1 万 5000 台ぐらい登録台数が増えており、人口が減る中で相当マイカーに流れていることがわかる。その中でもしっかりと公共交通を守っていくためには利用促進が必要であり、公共交通を使うことの意義を知っていただく必要がある。お手元の緑がかかった公共交通乗って行こう！運動のチラシに鳥取県を初め、鳥取県内全ての市町村と協賛いただける企業さんと一緒に取組んでいるが、この公共交通、鉄道・バスの利用を増やそうというところで一枚めくっていただくと、公共交通を使うメリットとなぜ使うのかをいろんな角度から作らせていただいている。皆さんそれぞれ価値観が違い、動機付けもまた違うと思っている。これが全てではありませんが、どれか一つでも公共交通を使ってみようかなというふうになればいいと啓発をしている。

次に、いざ使おうと思ったとき、どう使っていいかわからない状況がある。今年 9 月、交通フェスタというイベントを駅前で開催し、バスの乗り方教室に来られた親御さんに整理券を取る方法や料金の支払い方などを知ってもらっている。また、MaaS のチケットでは公共交通を使うとこんな便利なチケットがありますと PR して利用促進を図っている。他には 65 歳以上の方には、定期券を買っていただきバスの半額補助とかの取組をして、いろんな使いやすい体制は整えているので、ぜひ皆さん使っていただけたらと思う。

#### 【地元】

公共交通で自動運転とかあるが、今、福部町の中の例えば多鯰ヶ池地域の携帯が入りにくい場所もある。たくさん人が集まるとよくパケ詰まりして携帯の決済ができない事態が砂丘で起こる話も聞く。この未来志向で人を集めるのもいいが、スマホで決済される上で、この福部地域がどうしてもその辺が弱いところがあり、個人でも言っているが、地域全体としても底上げをしていただくように行政の方からもやっていただきたい。今後、高速通信化していくとそれが顕著に出始めると思うので、過疎地域への情報の強化をお願いしたい。

#### 【地元】

生活の仕方が車中心でなかなか難しいが、子供たちの目線で考えると移手段がないと子供の数も少なく、近所に数人とか学年が離れてしまうので同級生と遊ぶことが学校でし

か出来ない状況がある。仮に自動運転で町内をずっと回ってくれる話になれば子供たちが良いタイミングで帰れるので選択肢は増えると思う。もしかすると圧倒的な交通弱者は免許を持っていない子供で、子供たちにとってどう福部の交通をよくするかといった話をしていくことが地域全体として理解しやすいのかなと思った。

### 【地元】

10月に未来学園から依頼があり、6年生28人を対象にした授業をさせていただいた。その授業のタイトルが「地域の人たちの笑顔を増やすために」で、児童からの感想文をいただいたので紹介させていただく。

- 福部は大阪や東京と違い、何もないけれど、何もないなりにいいところをたくさん見つけました。例えば工場が少ないから空気が美味しかったり、鳥のさえずりが聞こえたり星がよく見えるところです。
- いつか大学への進学や就職でどこかに行くかもしれません。故郷福部を忘れないように生きていきたいし、これからも大切にしたいです。
- 福部駅を使っている人がだんだん少なくなっているから使う人を増やしていきたいです。
- 福部駅を使う人が減っていることを知ったので、福部駅を何とか使ってみようと思いました。
- 福部駅は毎年使っている人が減っているから、みんなで使って福部駅を盛り上げていきたいと思います。

時代を拓く子供たちがこんな思いを持っているということを知り、とても嬉しかった。要はこういった子供たちへふるさとへの思いを伝えていく機会をどんどん作っていきたい。これは私だけではなく地域におられる方々が地域の子供たちに対してそういった話を伝えていってくれたらいいと思う。この前のふくふくまつりの感想でも、いろんな人と話ができてよかったとか子供たちと触れ合えて良かったとか、いろんな意見を聞いた。こういった機会をどんどん作り、住民1人1人が主役となって動いていく地域にしていきたい。

### 【支所長】

本日は長時間にわたりたくさんの議論をしていただき、ありがとうございました。4つの項目について地域からしっかり課題提起をしていただき、それに対して市の関係課から取組をご紹介いただいた。知らない取組もたくさんあるということに気づかされた。また、地域の皆様の中からもいろんな未来に向かっての建設的なご意見をいただいた。市としても、そういったものを少しでも実現していくように取組んでまいりたい。今、地域振興会議で地域未来プランの策定をさせていただいている。併せて、新しい会議体の地域振興未来会議の委員を12月の支所だよりの方で募集開始している。我こそはと思われる方は手を挙げていただき、まちづくりの提案やプラン作りにもご協力をいただければと思う。そういったものを形にしながら、5年後10年後を見据えたまちづくりがさらに発展することを約束しまし

て、閉会にあたってのお礼の挨拶とさせていただく。本日はどうもありがとうございました。